

## 令和4年度事業計画

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで継続的に行われてきた依頼公演の開催見送りや、新規の演奏会獲得が難しいこと等もあり、前年度に続き厳しいスタートとなっております。また、欧州での紛争による影響等も懸念されますが、東日本大震災をはじめ多くの苦難を乗り越える際に発揮された音楽の力を信じ、音楽を通じた人々の絆を大切にして、地域の皆様、さらには全国の仙台フィルサポーターの皆様にも少しでも希望と勇気をもたらす活動を展開し、一層愛されるオーケストラを目指してまいりたいと思っております。

### 1. 仙台フィルハーモニー管弦楽団を編成し、及び維持すること

#### (1) 指揮者・楽団員の体制等

令和4年度は現在の指揮者体制5年目の集大成を迎えます。平成30年度より常任指揮者に就任した飯守泰次郎は任期最終年度となり、レジデント・コンダクター・高関健が、その任を終了したのち飯守の後任として令和5年度より常任指揮者に就任いたします。指揮者の角田鋼亮も令和4年度で退任となります。

また、楽団員については、令和3年度に実施したオーディションにより、オーボエ奏者1名を採用するほか、欠員となるトロンボーン及びファゴット奏者についてもオーディションを進めてまいります。

### 2. 交響管弦楽等の演奏を行うこと

#### (1) 定期演奏会

仙台フィルは、平成30年度から3年をかけて令和2年のベートーヴェン生誕250周年に向け、常任指揮者・飯守泰次郎の監修のもとでベートーヴェンの全交響曲、全ピアノ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲に取り組んでまいりました。令和3年度からはその流れをさらに深化させるべく、2年間をかけてブラームスの全交響曲、2つのピアノ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲及びチャイコフスキーの後期交響曲シリーズをスタートさせ、オーケストラの基礎的な演奏力向上に取り組んでいます。

また、令和3年度は、仙台国際音楽コンクール20周年であることから、仙台フィルの美点の一つである協奏曲演奏におけるオーケストラとしての共振力の強さと柔軟な反応力を再認識いただく絶好の機会ととらえ、「協奏曲」をシーズンの年間テーマとして掲げました。

これに続く令和4年度は、「飯守泰次郎グランド・フィナーレ」のほか「管弦楽曲の魅力」、「挑戦的な作品と名曲の組み合わせ」を3本柱に据えつつ、仙台フィル楽団員の個々の力が発揮されるプログラミングとしております。

常任指揮者・飯守泰次郎は、第 355 回定期演奏会（令和 4 年 5 月）に登壇し、ブラームスシリーズの集大成であるピアノ協奏曲の第 1 番とブラームス最後の交響曲である交響曲第 4 番を取り上げます。また、第 358 回定期演奏会（10 月）では令和元年（2019 年）、1 位を出さないことで有名なミュンヘン国際音楽コンクールで見事 1 位に輝いた若手チェリスト実力ナンバーワンと言われる佐藤晴真を迎え、ドヴォルザークの名曲チェロ協奏曲と、これまでまだ飯守とは取り上げていないロマン派の作曲家シューマンの交響曲第 3 番「ライン」という組み合わせを披露します。そしてグランド・フィナーレとなる第 362 回定期演奏会（令和 5 年 3 月）では、飯守が最も得意とする作曲家、ワーグナーとブルックナーで締めくくります。

レジデント・コンダクター・高関健は、第 361 回定期演奏会（令和 5 年 2 月）に登壇し、仙台に所縁があるピアニストの小山実稚恵とベートーヴェンの珠玉の作品であるピアノ協奏曲第 5 番「皇帝」で共演、カップリングには高関がルーティンワークで取り上げているショスタコーヴィチの作品を取り上げます。15 ある交響曲の中でも傑作と言われる第 10 番、次期常任指揮者が決まっている高関が仙台フィルとの近年の充実ぶりをいかに発揮できる渾身のプログラムとなっております。

指揮者・角田鋼亮は、指揮者就任期間最後の定期演奏会である第 354 回定期演奏会（4 月）に登壇し、仙台フィル初演奏となるバックスの交響詩「ティンタジェル」、そして今まで角田が指揮してきた多くのプログラム・ソリスト・楽器編成から着想を得てメインとしてムソルグスキー／ラヴェル編曲の組曲「展覧会の絵」をお届けします。人気・実力を兼ね備えたサクソフォーン奏者上野耕平を迎え、イバールとトマジの名曲も共演します。

また、今なお人気の衰えることのない桂冠指揮者・パスカル・ヴェロは、第 357 回定期演奏会（9 月）に平成 30 年（2018 年）3 月以来となる 4 年ぶりの定期演奏会登壇を果たします。ヴェロの得意とする作曲家、ストラヴィンスキーの名曲「ペトルーシュカ」を披露しつつ、個々の楽団員が際立つ室内協奏曲「ダンバートンオークス」は仙台フィルとしても初挑戦の試みとなります。一服の清涼剤のようにシューベルトをそっと添えているのはヴェロらしい心意気を感じます。

客演指揮者としては、令和 6 年（2024 年）12 月での引退を表明している井上道義が第 356 回定期演奏会（7 月）に久々に登壇します。井上得意のアメリカンプログラムを揃え、これも仙台フィル初演奏になるコープランドのクワイエットシティではソリストに仙台フィルの 2 人の名手（コーラングレ奏者木立至、トランペット首席奏者浦田誠真）を起用します。なお、平成 23 年（2011 年）の東日本大震災後当時、オーケストラ・アンサンブル・金沢の要職にあった井上は、いち早く仙台フィルを金沢へ招き、仙台フィル復活の道しるべを築いた恩人でもあります。

第 359 回定期演奏会（11 月）にはベテラン指揮者の域に入ってきた下野竜也

が2年ぶりに登壇します。NHK大河ドラマ「真田丸」のオープニングテーマ曲でタッグを組んだ若手実力派ヴァイオリニスト、三浦文彰とベルクの難曲であるヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」を取り上げ、協奏曲をルーティンとしている仙台フィルとさらなるアンサンブルの向上に取り組みつつ、下野らしいプログラミングであるハイドンとモーツァルトの交響曲第41番をシンメトリーに配置しました。

第360回定期演奏会（令和5年1月）では近年その実力が認められ、国内外のオーケストラと共演を重ね成功を収めているフランス人若手指揮者、マキシム・パスカルが仙台フィル初登壇となります。ブリテンやデュティユーの作品は仙台フィル初挑戦となり、新たなレパートリーの開拓を推し進めつつ、滅多に聴くことができない「禿山の一夜」の原典版を聴衆に届けます。

## （2）特別演奏会

東北の2つのプロオーケストラが手を携えて東北6県を元気にしようと企画された「東北UNITED 仙台フィルハーモニー管弦楽団×山形交響楽団 合同演奏会」が今年も継続開催されます。3回目となる今回は山形交響楽団芸術総監督の飯森範親氏を指揮者に迎え、ブルックナーの大作、交響曲第8番に両楽団が挑みます。令和4年度は山形交響楽団創立50周年となり、翌年に控える仙台フィル50周年も相まって両楽団の絆と実力を多くの聴衆に感じていただく絶好の機会となります。

平成14年（2002年）より継続開催している0歳児からのコンサート「オーケストラと遊んじゃおう」は、この2年間新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。令和4年度は未だなお出口が見えないコロナ禍の中ですが、少しでも多くのお子様連れに楽しんでいただこうと、感染防止対策を徹底した上で、客席を市松模様の50%に制限して開催します。例年人気の「楽器体験コーナー」は残念ながら中止としますが、指揮者を体験するコーナーや、珍しい楽器を見学できる展示コーナーを作り、コンサートともにお楽しみいただきます。

8月には、平成15年（2003年）から10年間続いたNHK教育テレビ（当時）の人気番組「ゆうがたクインテット」で有名な作曲家、宮川彬良を指揮者兼ピアニストに迎えて、仙台フィル夏の風物詩であった「サマーフェスティバル」を復活させます。「スペシャルコンサート with アキラさん（仮称）」と題して、なじみのある曲から宮川彬良氏の新作曲まで幅広い作品を並べ、多くのファミリー層をターゲットに、5歳から入場できる夏休みの目玉企画とします。今後数年間開催していく予定です。

「マイタウンコンサート in 岩沼」は、若手実力派指揮者として名高い松本宗利音を迎え、前回のマイタウンコンサートで演奏したカルメンファンタジーから着想を得て、ビゼーの作品を中心に取り上げます。序曲「祖国」、そして交響曲1番はなかなか実演の機会が少ない名曲のため、仙台の音楽ファンが岩沼ま

で聞きに行きたいと思わせるようなプログラミングです。ソリストには現在人気絶頂のヴァイオリニスト、辻彩奈を迎えメンデルスゾーンの名曲をお届けします。

年末恒例の仙台における「第九」特別演奏会は、今年で任期満了となる指揮者角田鋼亮がタクトを執り、角田が最も信頼する4名（秦茂子、小泉詠子、糸賀修平、伊藤貴之）のソリストを迎えます。コロナ禍で大人数の編成が組めない市民合唱団のサポートには、前年度同様プロの合唱団である東京混声合唱団を起用し、極上のベートーヴェン第九交響曲をお送りする予定です。

名曲コレクション・ニューイヤーコンサート 2023 は、平成 29 年（2017 年）仙台クラシックフェスティバルに登壇し、人気を博した現田茂夫を久しぶりに指揮台に迎えます。福島出身の箏奏者遠藤千晶をソリストに迎え、新年らしい作品である近衛秀麿の越天楽による箏協奏曲や、そこからメインのプログラムであるシェエラザードや、それに繋がる團伊玖磨のシルクロードなど近年稀に見る斬新なプログラムを取り上げます。また福島在住の作曲家、島津武仁に新作曲を委嘱し、福島、いわきの今後のさらなる復興を願い、仙台フィルと福島との強い絆と福島の復興への想いを込めて演奏します。

令和 2 年（2020 年）5 月、新型コロナウイルス蔓延に伴い中止せざるを得なかった仙台フィルのルーティンでもある現代作品の演奏会「日本のオーケストラ音楽」展の延期公演を令和 5 年 2 月に同じプログラムで開催いたします。多くの評論家や音楽関係者に働きかけ来場を促し、仙台フィルが以前より積極的に取り組んでいる現代音楽作品への造詣の深さを示します。

### （3）依頼公演

3 年に一度開催される仙台国際音楽コンクールが第 8 回目を迎えます。

今回は過去最多の応募者が集まり予備審査は激戦だったようですが、そのレベルも相当高いと聞いています。近年仙台フィルに入団した若手楽団員には大きな試練となりますが、このコンクールのお陰で仙台フィルは他のオーケストラより協奏曲というジャンルにおいては一段高いアンサンブル能力を獲得してきました。今回も多くの受験者に寄り添い、楽都仙台の名に恥じないサポートをお約束します。

令和 4 年 6 月には、アイリスオーヤマクラシックスペシャル 2022 が東京エレクトロンホール宮城と東京オペラシティコンサートホールにて予定されています。今回はレジデント・コンダクター高関健が指揮者を務め、ヴァイオリンの巨匠ギドン・クレーメルを迎え華々しく開催される予定です。

8 月には、定期的に依頼をいただいている岩手県久慈市アンバーホールにて、元 N 響首席オーボエ奏者の茂木大輔指揮のもとベートーヴェン最大の編成を誇る「ウェリントンの勝利」、そして交響曲第 7 番を演奏予定です。

9 月には、多くの若者に支持されているブラウザゲーム「刀剣乱舞 宴奏会」

全国ツアーの仙台公演を担当します。普段なかなかオーケストラ音楽に接することのない若年齢層にアプローチする絶好の機会となっています。

令和4年11月には、日立システムズ提供の東北放送ラジオ番組のための公開番組収録コンサートや、長年開催している岩沼第九演奏会を予定しております。

12月には、七十七銀行スターライトコンサートが新型コロナウイルス感染症対策を整え再開を予定しています。

令和5年1月には、年始恒例の藤崎ニューイヤーコンサートで仙台の初春を華やかに飾る予定です。

なお、コロナ禍における文化芸術の振興を目的に令和3年度から文化庁が実施している「アートキャラバン事業」は、令和4年度も実施されることとなったことから、仙台フィルでも東北地方での開催を目指し、公演獲得に向けて取り組んでまいります。

#### **(4) 室内楽**

音楽の力による復興センター・東北との連携による被災地域各地での室内楽公演を継続するとともに、地域のニーズに合わせて各種室内楽活動を引き続き行っていきます。

#### **(5) その他**

被災地のオーケストラとして、「音楽の力による復興センター・東北」と連携し音楽による復興支援活動に引き続き務めてまいります。

また、令和3年度より取り組みを始めたボランティア活動「ほうもんコンサート」も引き続き取り組んでまいります。

なお、平成26年度から開始した東日本大震災の被災者を招待する「復興パートナーシート」は、震災後10年が経過するとともに、事業の財源である復興パートナーシート寄付金を全額活用したことから、令和3年度をもって事業を終了いたしました。

### **3. 青少年等の音楽鑑賞及び演奏等に関し指導を行い、その普及を図ること**

#### **(1) 青少年のためのオーケストラ鑑賞会**

令和4年度も、3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で多くの児童が一同に会する「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」を行わず、仙台市内の小学校を対象に、小編成の室内楽グループによる学校訪問ミニコンサートを開催する予定です。

#### **(2) 文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）**

令和4年度も文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）」が採択となり、東北・北海道の小学校や中学校の訪問を予定しています。各地の

子供たちにオーケストラの素晴らしさを届けます。

### (3) その他依頼公演

例年開催されている仙台育英学園秀光中学校管弦楽部の共演を通し、事前練習等で演奏指導を行います。同様にエンジョイ！クラシックでも高校生の管弦楽部と共演を予定しており、演奏指導にあたる予定です。

## 4. その他目的達成のために必要な事業

### (1) 演奏に必要な調査、研究

日本オーケストラ連盟加盟団体との各種情報交換に加え、文化庁、日本芸術文化振興基金へのヒアリングなどにより、当団の成長・発展と健全な運営に役立てまいります。

### (2) 仙台フィルと第九をうたう合唱団

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大編成の合唱団を結成することが叶わず、市民合唱団40名をオーディションにより選抜しました。令和4年度も引き続き感染症予防対策をとりながら同様の編成で取り組んでまいります。

### (3) 仙台ジュニアオーケストラ

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりつつ、メンバーが音楽を演奏することによって心身ともに健康であることを目標に、仙台フィルの団員が講師となり、各楽器のパート練習、及び弦楽器、管楽器、打楽器に分かれての分奏の指導にあたります。令和3年度からは高関健がスーパーヴァイザーに就任し、大きなレベルアップを図っておりますが、コロナ禍において思うように活動できない期間もあり、運営の難しさにも直面しております。

### (4) その他

多くのリスナーからご好評をいただいているエフエム仙台「仙台フィル Wave Symphony」は、令和4年度も番組内で聴取者に仙台フィルの演奏をじっくり聴いていただく形で継続されます。加えてTBC東北放送においても「エンジョイ！クラシック」の継続が決定しております。これらの放送媒体や仙台フィルのホームページ、ツイッター、フェイスブックなどSNSによる情報拡散を積極的に行うとともに、令和4年度からはLINE公式アカウントを取得し、今まで情報が届かなかつたようなより幅広い年代の方々に仙台フィルの存在とクラシック音楽の素晴らしさを伝えてまいります。また仙台フィルYouTubeチャンネルを活用し、すべての定期演奏会の指揮者、ソリスト、または仙台フィル楽団員による定期演奏会事前プロモーション動画の配信をスタートさせます。